

NPO法人愛伝舎 2020年活動報告書

「カエルプロジェクト」IN 桑名



三井物産株式会社が行う社会貢献事業の三重県実施団体として、日系ブラジル人の教育支援事業を行っています。2020年は桑名市で実施、彼らが抱える教育の課題を桑名市役所や教育委員会につなげ、継続的、横断的な視点に立った課題解決の提案をしました。

また、各地の市民団体との連携も図り、課題や情報の共有をしています

外国人キャリアサポート事業

三重県教育委員会からの受託事業として、三重県立飯野高等学校と三重県立三重ゆめ学園高等学校に在籍する外国人生徒を対象とした進学・就職セミナーを開催しました。

高校卒業後の進学先やその費用、日本社会での働き方について説明し、卒業生たちから経験を踏まえたアドバイスをしてもらい、将来設計の参考にしてもらっています。



外国人と企業の就労マッチング

製造業での派遣就労が多い定住外国人は、経済状況により雇い止めの対象になりやすく、不安定な状況にあります。しかし、建設や運輸などの業種では人手不足の企業も多く、愛伝舎では正規雇用での就労をしたい外国人と企業のマッチングに取り組んでいます。この活動を通して、地元の運送、建設会社に外国人が正規雇用で採用されました。



2020年は、世界中が大きな渦に巻き込まれたような年でした。そんな日々の中で多くの方のご縁とご支援に恵まれて、愛伝舎の活動を続けることができましたこと、改めて感謝申し上げます。

多くの人と手を取り合って、2021年が良い年になるように取り組んでいきます。引き続きよろしくお願ひいたします。

愛伝舎スタッフ 一同





外国人コミュニティとの ネットワークの構築

近年、愛伝舎が注力している活動の1つに、外国人コミュニティとのネットワーク構築があります。

外国人住民の中では、日本で定住をしていく上で日本の社会の一員として共生していこうと考え活動をしている人たちも増えています。

そうした外国人コミュニティには核となって活動するリーダーが存在することが多く、その方達と連携をとることで、効率的に日本の行政からの情報を配信してもらい、外国人側の声を集約し、関連機関に繋げています。

2020年には北勢地域在住のブラジル、ペルー、フィリピンコミュニティと連携して健康相談会や意見交換会、教育セミナーを開催しました。

更に、DVからの避難による住居探しや教育の相談など寄せられるものに対応しています。



ネットワークの構築と 名古屋出入国在留管理局との連携

2019年4月の改正入管法施行に先立ち、2018年12月に「外国人材の活躍と共生のための総合的対応策」が閣議決定されました。

施策の1つに「外国人支援団体のネットワークの構築」があり、当時の名古屋出入国在留管理局の局長であった藤原浩昭氏より理事長の坂本に東海地区の支援団体のネットワーク構築を検討してはどうかとのお声がけをいただきました。

そこで、愛知県・三重県・岐阜県の市民団体に呼びかけ「外国人支援・多文化共生ネット」を結成。14団体が協働や情報、知見の共有を進め、名古屋出入国在留管理局とも連携することになりました。

外国人支援・多文化共生ネットは名古屋入管を通じて国に外国人との共生の為の政策提言を行っており、入管職員が現状の把握のため、ネット参加団体が実施する事業に視察を行いました。

2020年3月には、出入国在留管理庁佐々木聖子長官より「感謝状」を授与されました。

